

2024年3月7日

キーワード: 育児支援、インクルージョン環境整備、ジェンダー・ダイバーシティ、ワーク・ライフ・バランス、SDGs

子育てしながら研究・修学に専念できる環境を目指して！
大阪大学に**完全個室型ベビーケアルーム**“mamaro”を設置
～大阪大学は DE&I 実装キャンパスへ～

❖ 完全個室型ベビーケアルームを設置

大阪大学は育児中の教職員・学生の負担を軽減し、研究・修学に専念できる環境整備の一環として、吹田キャンパス共創イノベーション棟1階に完全個室型のベビーケアルーム「mamaro」※(ママロ)を設置しました。「mamaro」は、授乳、オムツ替え、さく乳など、赤ちゃんケアに幅広くご利用いただけます。

子育て中の学生や研究者が気軽に赤ちゃんを連れて勉強や研究ができる環境をつくりたい。「mamaro」の設置は、その環境実現への第一歩となります。

今後も、大阪大学は多様性(Diversity)が個人のアイデンティティとして受け容れられ(Inclusion)、その人がありのままに公正に(Equity)その能力を発揮できる「DE&I 実装キャンパス」の実現を目指してまいります。

※「mamaro」

可動式の完全個室ベビーケアルーム。授乳やおむつ交換や着替えなど、幅広い赤ちゃんケアに利用いただけます。個室型で施錠ができるため、性別問わずご利用いただけます。

▼「mamaro」紹介ページ

(Trim コーポレートサイト)

<https://mamaro.trim-inc.com/>



❖ 設置概要

- 場所 吹田キャンパス 共創イノベーション棟1階
- 台数 1台
- 主な室内設備、ソファ、可動式ソファ、モニター、コンセント
- サイズ 高さ 201cm、幅 180cm、奥行 90cm
※室内の高さ 190cm、室内面積1.28㎡
- 利用可能日 平日 (※大阪大学の建物内への一般の方の入館はご遠慮いただいています。「mamaro」のご利用は、大阪大学に所属の教職員・学生、及びそのご家族など関係者を想定していません。)

❖ 該当する SDGs の目標

